

WOOD TALK SESSION



林業・製材・建築の現場を学び合う

vol.1

3/15

[SUN]

14:00 - 15:30

金沢未来のまち創造館
2階 コワーキングスペース

「石川県産の木材を、もっと手軽におもしろく建築に使えないのだろうか？」
建築士・岡佑亮さんの、そんな素朴な問いからこのプロジェクトは始まりました。

林業、製材、建築。

木材に関わるさまざまな事業者を訪ね、話を聞くなかで見えてきたのは、
「北陸産木材をもっと使っていきたい」という共通の想いでした。

一方で、それぞれの立場が抱えるニーズや課題は
意外なほど共有されていないという現実もありました。

そこで私たちは、木を伐る人から、加工する人、使う人まで
川上から川下までのプレーヤーが一堂に会して学び合う場として
HOKURIKU WOOD TALK SESSION を立ち上げました。

この場では、北陸産木材がどのように流通し
どうすればもっと建築に活かせるのかという具体的な可能性を探ると同時に
人と木の関係、そして次の世代へ引き継ぐ未来の森林環境についても議論していきます。

木材を巡る人々が互いに学び合う。

北陸の木を「共有知」として育てるためのプロジェクトです。

vol.1 HOKURIKU WOOD TALK SESSION

本セッションでは、木材の活用に取り組む3名が登壇します。
岡さんは川上から川下までが密な連携することで生まれた新しい建築の可能性について、砂山さんは石川の木を身近にするプロジェクト「Maru+ (マルタス)」の挑戦を、奈良さんは能登での伝統構法による家づくりと、地元材をどう活かしてきたかを語ります。
プレゼンと質疑応答で深掘りしたあと、最後は全員でのまとめセッションを行います。北陸の木の豊かな未来を、皆さんと一緒に考える時間です。



岐阜県飛騨市「森の端オフィス」
設計・監理：
chidori studio + ツバメアーキテック



株式会社中野 Maru+(マルタス)
現場見学会にて撮影



石川県七尾市「久木の家」 設計：能登デザイン室



プレゼンター



一級建築士事務所 能登デザイン室 代表
奈良 雄一さん

東京都生まれ。横浜国立大学卒業後、2000年にイタリアへ渡る。ガラス工房や建築事務所に勤務後、ヴェネツィア建築大学を卒業。2006年の帰国と同時に能登島へ移住し、「能登デザイン室」を設立。能登の豊かな自然や風土を背景に、プロダクトデザインや建築設計など、地域に根ざした多角的なクリエイティブ活動を展開している。グッドデザイン賞など受賞歴多数。



株式会社中野 木材コーディネーター
もりらばー林業女子会@石川 代表
砂山 亜紀子さん

兵庫県生まれ。結婚を機に移り住んだ金沢で森林ボランティアに参加し、林業の重要性に目覚める。金沢林業大学校での2年間の研修を経て、2013年に「もりらばー林業女子会@石川」を設立。2016年より現職にて、森林整備の計画から現場監理、補助金実務まで一貫して携わる。石川・能登のフィールドに全国の先進事例をどう落とし込むかを日々模索している。石川県森林審議会委員。



建築設計事務所 chidori studio 代表
岡 佑亮さん

石川県生まれ。首都大学東京大学院修了。在学中にフィンランドへ留学し、都内設計事務所を経て2020年に「chidori studio」を主宰。2023年に金沢職人大学校を修了し、現在は金沢大学等で非常勤講師も務める。主な受賞にSDレビュー朝倉賞、木材活用コンクール木材活用賞（ともに『森の端オフィス』）、金沢都市美文化賞など。設計活動を通じ、現代の地域における建築の在り方を追求している。



◀ Peatixよりお申込ください(無料)

一度に6名様までお申込いただけます。

企業様でまとめてお申込みの場合、お名前欄に社名をご記入ください。



金沢未来のまち創造館全体で開催される「わくわく祭」のイベントの1つとして実施します。詳しくは創造館webサイトをご覧ください。



■主催 / TENJO KANAZAWA (金沢市委託事業) ■協力 / chidori studio

TENJOKANAZAWA は、金沢未来のまち創造館にて「食」「ものづくり」「子どもの未来」に関わる領域を中心に、伴走型の起業支援や事業相談を行う、金沢市のスタートアップ・新ビジネス創出事業です。起業準備をしている方や、新事業を起ち上げたい企業など、事業を通して新たな価値を創造する人々を、メンタリング(起業相談)、起業家コミュニティの醸成、起業に関する各種イベントを通じてサポートします。

TENJO KANAZAWA
Instagram

